〔様式　1〕

事　務　事　業　評　価　表

平成１４年度	主要事業計画対象の有無	無		電話	042（769）8355
担当部課名	保健福祉部	障害福祉	課		
事務事業名	在宅重度障害児者社会参加促進事業ふれあいの旅			事業コード	11310

1 総合計画における位置づけ

政　策　名	第	1	章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第	3	節	障害者の自立支援と社会参加	～63 年度
施　策　名	第	1	施策	自立した生活を実現するための環境づくり	

2 実施根拠及び関連法令等

在宅重度障害児者社会参加促進事業ふれあいの旅実施要領

3 事業概要

（1）事業の目的

在宅の重度障害で日頃外出の機会に恵まれない人に一泊旅行の機会を提供し、社会参加の一助にしてもらうこと。

（2）対象（誰、何）

市内の在宅重度障害児者

対象数

（3）平成13年度事業の内容

平成13年7月11日（水）～12日（木）
千葉県鴨川方面（マザー牧場・鴨川シーワールド）
参加者（障害者）・介助者40組80人
職員64人　　　　　　　　合計144人

（4）総合計画･実施計画における概要

なし

（5）個別計画の概要

計画名　なし

計画年次　　年度～　　年度

4 評価指標

	①	②	③
指標名	実施率		
指標式	参加決定者÷参加者資格者×１００		
指標設定の意図	参加決定した者を実際に参加した者で除しサービス提供を受けた者をはかる。		

5 目標と実績　　〔金額単位：千円〕

		平成11年度	平成12年度	平成13年度（評価対象年度）		平成14年度
		実　績	実　績	実　績	目　標	目　標
指　標　①		100	100	a 97	b 100	100
指　標　②				c	d	
指　標　③				e	f	
事業費	決算（予算）額	3,585	3,658	3,405	3,405	3,775
	人員・時間数	1	1	1	1	1
	人　件　費	842	842	842	842	842
	その他経費	0	0	0	0	0
	合　　計	4,427	4,500	4,247	4,247	4,617
特　定　財　源		78,837	81,714	82,092	82,092	85,149

6 個別評価

(1) 達成度・・・目標をどれだけ達成したか

評価		
A	A：達成している　　　（α≧100%）	α＝①、②、③の平均値　＝　97.0%
	B：一部達成していない(100%>α≧80%)	
	C：達成していない　　(80%>α)	

①	②	③
a 97.0 / b 100.0 ×100=　97.0%	c / d ×100=	e / f ×100=

理由：参加決定した者が正しくサービス提供を受けている。

(2) 必要性・・・時代変化に適応した事業内容か

評価		理由：
B	A：適応している B：一部適応していない C：適応していない	ガイドヘルパー派遣事業や宿泊費助成事業等が充実し、障害者の社会参加は事業開始時よりは確実に進んでいるため、当初の事業目的にそぐわない点がある。

(3) 経済性･効率性・・・費用対効果は妥当か

評価		理由：
A	A：妥当である B：一部妥当でない C：妥当でない	事業費の内容を精査しており、妥当である

(4) 事業の代替性・・・県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か

評価		理由：
C	A：代替の可能性ない B：代替の可能性低い C：代替の可能性高い	ガイドヘルパー派遣事業や宿泊費助成制度を活用し、障害者自身による社会参加をすすめる。

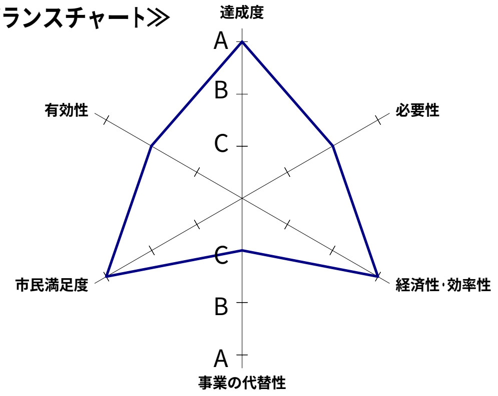
(5) 市民満足度・・・対象市民の満足は得られているか

評価		理由：
A	A：満足できる B：一部満足できない C：満足できない	アンケート等で好評である。

(6) 有効性・・・当該事業は上位の施策を実現する上で有効か

評価		理由：
B	A：有効である B：一部有効である C：有効でない	障害者の社会参加を促進するためには一部有効である。

≪評価バランスチャート≫



成果向上の余地

	説明：
☐ あ る ☑ な い	事業の実施内容は確立している。

コスト改善余地

	説明：
☑ あ る ☐ な い	1泊2日の日程を日帰りに改める等実施形態の見直しを図る。

7 総合評価

評価	
A	★★★☆☆

今後の進め方

☐	継　続
☑	見 直 し
☐	廃　止
☐	完　了

他自治体の類似事業との比較：

説明：毎年の参加者の中に、過去複数回参加している人や高齢障害者の割合が高くなり、初参加の障害児者が少なくなっている。また、市の障害者施策においても、ガイドヘルパー派遣事業や宿泊費助成等の事業が充実し、障害者の社会参加を促進しているため、事業開始当初の事業目的にそぐわない点もあり、事業の見直しを図りたい。

8 二次評価における変更点

・類似事業との均衡性から、一部参加者負担金の導入について検討すべきである。